

## 岡崎製作所 外観



岡崎製作所は、2016年に旧名古屋製作所から名称変更された。1977年より生産を開始し、三菱自動車の国内主力工場として、常にメーカーを代表する車を製造してきた。

## 5F トイレ入口



入口はすべて引戸とした。扉には、視認性の高い大きめなカラーピクトを採用したサインを掲示し、初めて利用されるお客様にもわかりやすいよう配慮している。

## 5F 女性トイレ



水濡れを心配せずに化粧ポーチなどの小物を置くことができるように、ツインデッキカウンターを採用。自動水栓・電気温水器・オートソープディスペンサー・クリーンドライを設置し、快適性を向上させた。

## 5F 多機能トイレ



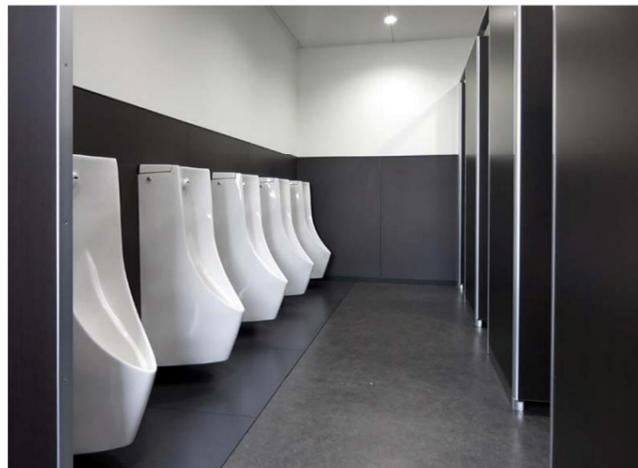
新設した多機能トイレには、コンパクト多機能トイレパックを採用。車いす使用者やオストメイトなど、さまざまな使用者に対応できる設備を備えている。

## 5F 男性トイレ



シンプルデザインと大幅節水を実現した壁掛式の自動洗浄小便器を採用し、1台には専用手すりを設置。小便器の足元には尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減するハイドロセラ・フロアPU(薄型)を設置。

## 5F 男性トイレ



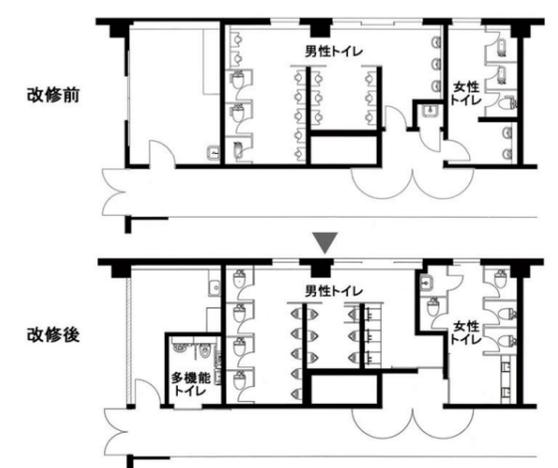
改修で大便器ブースを1つ増やした。小便器コーナーを2つに分け、器具数を大きく減らすことなく、スムーズな動線を実現。大便器ブースは小便器まわりの腰壁と同色とし、空間に統一感を持たせている。

## 5F トイレ改修前



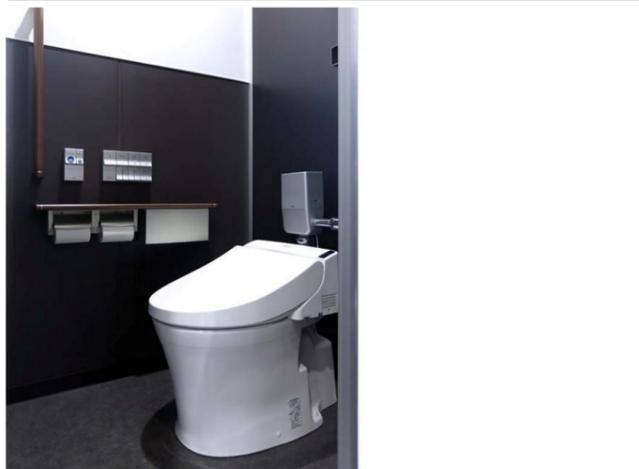
日々の清掃や器具の修理、配管清掃は丁寧に実施されてきたが、竣工以来大規模な改修が行われていなかったため、設備、内装とも時代にそぐわないトイレになっていた。

## トイレ図面



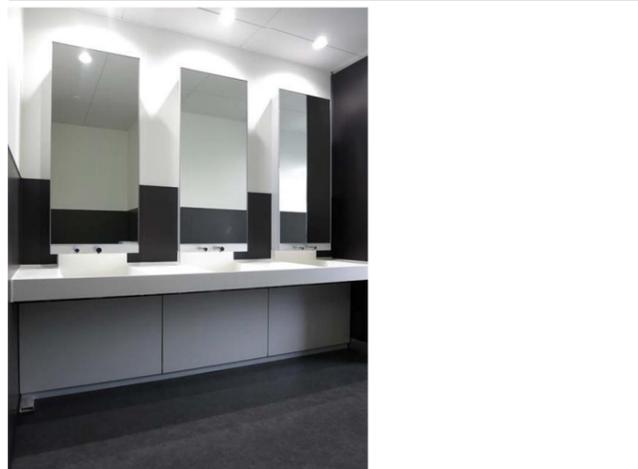
改修前にはなかった多機能トイレを新設。男女トイレでは、大便器ブースの数をそれぞれ1つ増やしている。

## 5F 男性トイレ



便器は、環境に配慮し4.8L洗浄のパブリックコンパクト便器を採用。立ち座りがしやすいよう、すべてのブースを洋式便器とし、手すりを設置。手すり・紙巻器は、高級感と温かみを感じさせる木目調とした。

## 5F 男性トイレ



RESTROOM ITEM 01のボウル一体カウンターを採用。洗練された空間と美しく調和するシンプルなデザインと使いやすさを両立した。

## 建築概要

名 称	三菱自動車工業株式会社 岡崎本館
所 在 地	愛知県岡崎市橋目町字中新切1番地
施 主	三菱自動車工業株式会社
設 計	MMCテクニカルサービス株式会社
施 工	株式会社美建・株式会社松井 中部電工株式会社
竣工年月	(改修)2016年3月

## 水まわりの特長

**<改修の経緯>**  
三菱自動車株式会社は、三菱グループに属する日本の自動車メーカーである。なかでも「岡崎製作所」は1977年の操業以来、主要乗用車を生産してきた国内主力工場の1つ。近年では海外生産拠点のマザー工場として、重要な役割も担っている。これまでは工場設備の充実を優先してきたことから、その他の設備は、竣工以来、大規模改修がなされず老朽化が進んでいた。このたび、トイレ改修の先鞭として、大会議室があり来客の多い、岡崎本館の5Fトイレを来客用としてふさわしいトイレへと改修を実施した。

**<トイレの特長>**  
「来客用としてふさわしいトイレに」というコンセプトから、最新の機器を採用するとともに、内装は落ち着いたモトーンで、洗練されたトイレ空間を創出している。環境に配慮した節水型の器具を採用しているほか、すべての大便器ブースを洋式化、各ブース内に手すりを設置するなど、使い勝手と快適性を大幅に向上させた。また、改修前には設置されていなかった多機能トイレを新設し、さまざまな身体状況のお客様にご利用いただけるよう配慮している。改修後は、社内からも好評を得、同本館に勤務する社員の中には、別のフロアから使用しに来る人もいる。来年度以降、順次社員用トイレも改修していく予定である。